

保護者の皆様へ

新型コロナウイルス感染第2波への備えについて

平常保育が開始され、早4週間となりました。東京ではこの数日新型コロナウイルス感染者の数が急増えだし、大阪はまだ少数とはいえ、感染の第2波が心配されます。

しかし、第一波を経験した中で、このウィルス感染についてはまだ不明の点がありますが、一定の知見が確定した様に思われます。幼稚園のホームページには関西学院大学 日浦直美教授(学校法人今川学園 理事)から提供がありました日本小児科学会 予防接種・感染症対策委員会が作成した新型コロナウイルス COVID-19 の小児感染についてのレポートを掲載しておりますので、是非ご覧ください。

この中では、今回の感染者の中で小児の占める割合は極めて少なく、その殆どが家族内感染である事。成人と比べて軽症で、死亡例も殆どない事。学校や保育所でのクラスターは極めてまれと考えられる事。また学校や保育施設の閉鎖は流行阻止効果が乏しい事が指摘されています。

大阪府も、この小児科学会の知見に基づき、今後の感染第2波に備えての対策を以下の通り先週末発表しましたのでお知らせします。

- 1、第2波、第3波が生じた場合、府としての一斉休業は原則行わない
- 2、府立学校については、分散登校やオンライン授業の組み合わせにより対応。
- 3、私立学校においては、府立学校の方針を踏まえ、各学校で判断する。
- 4、府立学校の児童生徒または教職員に感染が確認された場合は、保健所の判断に要する期間、概ね「3日間臨時休業」とする。また、保健所の指示及び助言を踏まえ、感染拡大防止と体制整備に必要な期間及び範囲を臨時休業とする。私立学校においても府立学校の対応を参考に、保健所と相談の上、各学校で判断する。

以上が骨子となりますので、現在の最新の情報として皆様にはお知らせする次第です。

感染第一波の折は、ウィルスが正体不明な点があり、政府・行政の方針も万一のケースを想定しての緊急事態宣言・臨時休業要請等であったことは決して避難されるものではないと考えますが、今回の小児科学会の知見に基づいての冷静な対応が、今後は幼稚園・学校・保育施設、また保護者の皆様にも必要かと思えます。

政府・行政のみならずこの3か月のマスコミの報道も検証される必要があります。特に一部のワイドショー等に見られる、5月20日に出された上記の小児学会の様な冷静な見解を報道せず、唯々感染者の数だけを並べ、不安と批判を煽るような報道内容には決して踊らされないようにしたいものです。

今後、幼稚園では、COVID-19についての最新の知見を参考にして、感染防止を十分意識しながら「手洗い」「うがい」「3密の回避」は継続して子どもたちに指導してまいります。この継続は、COVID-19のみならず、あらゆる感染症に有効です。

最後に、経済不況や雇用の深刻な問題がある中ですが、高齢者・持病のある方を含め、何よりご家族の皆様の健康をお祈りし、教職員の健康と安全にも一層力を入れて、感染予防に努めていきたいと思えます。

理事長・園長 今川 公平